



東京都条例

デモは取り締まり対象!?

規制強化で高まる懸念

Q 東京で、市民集会や労組のデモなどが取り締まりの対象にされかねない条例改定があったとか?

A 都の迷惑防止条例が規制対象の一つきまとい行為の種類を増やした。①みだりにうるつく②Eメールなどの連続配信③監視していると告げる④名誉を害する事項を告げる⑤性的羞恥心を害する事項を告げる⑥五つで、罰則もこれまでより重くした。

Q & A

Q ストーカー対策としては、いいんじゃないの? A そこが問題。ストーカー規制法では「恋愛感情や好意の感情」を満たす行為を規制対象

にしている。ところが改定条例は「悪意の感情」を満たす行為が対象で範囲が広い。街頭活動で首相や会社の社長を批

判したら「悪意の感情があった」とされ、名誉毀損(きそん)で処罰されかねない心配されている。

Q 正当な労組活動は大丈夫なんじゃないの?

A 正当かどうかは警察が判断する。労働運動や市民運動、取材活動などであっても「悪意の感情に基づくつきまとい」と判断される恐れが十分にある。憲法違反との批判もある。

Q もう改定されちゃったんだよね

A 施行は今年7月だ。警察の乱用を許さないよう監視が必要。同時に、処罰を恐れて運動を萎縮させないことが大切だね。

(連合通信から)

ITF Australia calls on police to investigate missing seafarer

The ITF in Australia has called on the Australian Federal Police to investigate the disappearance of a seafarer reported missing on a ship bound for Australia.

The crew member, Arnel Gillo, went missing from the Dutch-owned, Singapore-flagged Galloway Express on 13 March 2018, and his family asked the ITF to help discover what happened to him. Australia national co-ordinator Dean Summers reported that an ITF inspector who went to the livestock carrier when it docked at Townsville, Queensland was harassed by company representatives, and that the state police prevented access to speak to the master and crew.

Mr Summers said that the Australian Federal Police (AFP) needed to investigate the incident as a matter of urgency. He added that the AFP had dealt with the case of the Panama-flagged Sage Sagittarius, in which the coroner in New South Wales found that two seafarers who died on board the vessel off the Australian coast were the victims of "foul play."

The coroner in the Sage Sagittarius case recommended a permanent standing group representing the police, maritime safety and transport safety authorities to investigate the death or suspicious death on board, or disappearance from, an international vessel in or bound for Australian waters.

ITF Maritime News, 23 March 2018

キー局で20年ぶりのベアも 人材確保への危機感が背景

民放労連

民間放送局や番組制作会社の番組をつくる民放労連の春闘回答は昨年同期をやり上回っている。在京キー局の労組が20年ぶりにベアを引き出すなど前向きな変化が生じているのが特徴だ。背景には、深刻な長時間労働で若者に敬遠されがちな放送業界で、賃上げに

社でのベアは20年ぶりだという。テレビ東京もベア相当の賃上げ5千500円(22歳と若手に厚みをもたせた。北海道放送は22歳35歳に5千700円と「17年ぶりの大幅ベア」を回答。36歳以降については残業代の算定基準を見直し、収入増となるようにする。

統一再回答を経て72組合8支部の回答を集約した。回答平均は定期昇給相当分込みで8183円(2.62%)。昨年同期を357円上回っている。

ベア獲得は13組合3支部。在京キー局ではTBSテレビの労組が3千円を引き出した。民放労連によると、キー局は2000年頃から一時金で成果配分を行う姿勢を強めており、同

制作会社でもベアを獲得している。親会社である放送局の労組が自社に制作会社への発注料金の引き上げを要請し2千円のベアにつなげた事例や、組合の段階的な正社員化要求に対し、契約社員全員の正社員化を回答した成果などが報告されている。放送局構内で働く下請け労働者に一律2万円の慰労金支給や、食堂の無料開放、クオカード支給などの回答も寄せられている。

(連合通信から)

ニュース・ワード

休憩と休息

どちらも「休むこと」ですが、違いがあります。休憩は労働時間の途中に与え、労働義務を免除すること。低下した労働能力の回復を図るのが目的で、使用者は労働時間が1日8時間を超える場合は1時間の休憩を与えることが必要です。

一方、休息は休暇、休憩、休日を含む幅広い概念です。勤務と勤務の間の「休息時間」は、疲労回復だけでなく、余暇や社会的・文化的生活を営むために用いられる、全く自由な時間とされています。

(連合通信から)